

環境心理生理運営委員会 2010年度第1回
議事録案

日時：2010年5月19日 17:00～

場所：建築学会 会議室（305）

出席者：主査 大井尚行

幹事 秋田剛 楨究

委員 （讃井純一郎）西名大作（小島隆矢）大野隆造（中村芳樹）

（山中俊夫）（松原斎樹）宗方淳（渡辺秀俊） かつこは欠席を示す

議事

議事録確認 2009年度第5回（2009年3月16日）3/18メール送付

報告事項

(1) 環境工学本委員会 2010年度第1回

・報告事項

(1) 学術推進委員会報告

c) 著作権関係の内規 電子化されたものを今後送信する予定（大井主査）

d) 2011年度大会 早稲田大学早稲田キャンパスで8月下旬の見込み

g) 2010年度大会 環境心理生理セッション

初日（OSは午前）と2日目 75名の教室 72報の発表

史上最多の発表件数（6802題、環境工学は1304題）

建築デザイン発表会がなかったら応募しないというアンケート結果

(118/173) →機能していると捉える

委員会等開催するのであれば、申し込みを（様式：酒井さんに）

学会賞：大鶴先生、小林茂雄先生→2日目に受賞記念講演

k) 調査研究委員会の組織再編案

再編実現の可能性は小さいようだ

(2) 2010年度大会

a) 研究協議会：小島

b) 研究懇談会：讃井、大井 7月号に会告

環境工学懇親会：9/10（金）夜

(3) 細々分類検討 6月中旬に次回

・審議事項

(1) シンポジウム実施計画 チュートリアル→承認

(2) 委員の委嘱 感覚・知覚心理 大同大学の竹村先生→承認

(3) メールマガジン掲載依頼 6/5のシンポを5/23に 40字×3行

(5) 7月本委員会開催について 支部委員がいない回として試行してみる

(6) 運営委員会自己評価について 佐土原幹事のまとめ→後ほど回覧

小委員会の開催数と出席者の数を記録する必要がある

→※運営委員会に開催時に報告：秋田幹事が取りまとめ

(7) 来年度の研究集会 研究協議会は関東支部の企画

研究懇談会：「現状と将来」をやる4年に1度の年に当たる

このテーマでいいか、誰が書くか

- (2) 大会関係報告 プログラム編成会議
- (3) その他

審議事項

- (1) 委員等確認
 - ・現状は、昨年度と変更なし
- (2) シンポジウム等企画
 - ・建築空間における感覚・知覚心理シンポジウム第8回 6月5日(土)
 - ・第10回 環境心理生理チュートリアル 9月28日(火)
 - ・計画系等との合同発表会について
 - ・秋に実施するのであれば、7月の本委員会に掛ける
- (3) 出版関連
 - ・学術用語集 山田先生、大井主査のチェック(最終段階) 今年中に発刊できる見通し
 - ・調査のデザイン 今年後半から活動再開となるか
 - ・その他の企画
 - 環境心理学会で使う教科書についての話題があった
 - 現在の教科書は実例に乏しい。失敗例や成功例があるといい
 - 現在進行中の出版物に関わっていない人を中心にした出版企画も考えたい
 - 感覚知覚小委員会がやった屋外・半屋外の話を進められないか
 - シリーズものとして薄いものを出すというやり方もある
 - 学術論文のエッセンスを一般向けにしたものがあるといい
- (4) 中長期計画
 - ・2011年度以降の体制 今後、この分野がどうなっていくかを考えて主査交代 ここ何年かと異なる分野の人をお願いしてみてもどうか
 - 運営委員会新委員
 - 人数を増やしてもいい
 - 小委員会幹事を委員にすることも考えられる→次回までに小委員会主査が打診
 - ・2011年度研究懇談会
- (5) その他